

足元を踊る色とりどりの落ち葉や風の冷たさに、晩秋を感じる季節となりましたね。今回は引き続きベネッセの教育情報サイトより「ヘリコプターペアレントによって育った子どもの特徴」について、ご紹介いたします。

ヘリコプターペアレントによって育った子どもの特徴



① 一人で問題解決ができない

困難や失敗を経験していないため、1人で問題解決ができなくなります。たとえば忘れ物をしたときには、「先生に相談する」「友達に借りる」「家に取りに戻る」など、さまざまな解決方法があります。忘れ物をするたび必ず親が届けていたり、忘れ物をしないように親がすべてやってあげたりしていると、結果的に周りに依存してしまったり、問題を放置してしまったりする可能性が出てくるのです。

② 自分を好きになれない

ヘリコプターペアレントは、子どもが失敗しないように先回りします。つまり、子どもの行動が制限され、「それはダメ」「危ないからこっちにしよう」など、やろうとしていることや考えを否定されることも多くなります。親の希望と違う行動を取れば、責められたり叱られたりすることも増えるでしょう。そういったことが繰り返されると、自己肯定感が低くなり、自分のやることや考えることに自信が持てず、自分自身を嫌いになってしまうのです。

③ ネガティブ思考

自己肯定感が低いというのは、ネガティブ思考にもつながります。ヘリコプターペアレントによって育てられると、行動や考えを否定されることが多くなり、それが続くと、もし良い考えが浮かんだとしても、「ママはダメって言うんじゃないか」「これをしたらパパに怒られるだろうな」と考えるようになります。まさしく、ネガティブ思考ですよ。こういった思考が強くなると、自分の意見や希望があったとしても主張することができません。常に親の顔をうかがい、親の意見に従って生きていく……そうならなかったら悲しいですよ。

④ 精神的に不安定になりやすい

「ダメ」「いけない」など、否定的な言葉に触れる機会が多くなれば、気持ちも落ち込むはず。行動や考えを否定されているだけなのに、自分自身を否定されたような気分になってきます。大人だってそうですよね。また、ヘリコプターペアレントによって育てられた子どもは、親に認めてもらうために完璧であろうとします。「80点ではダメ、100点でなければいけない」と思って生きるのは、きっと苦しいでしょう。認めてもらえる機会が少ないため、自信が持てず、精神的に弱いまま生きていかなければならないのです。

『ベネッセ教育情報サイト』より一部引用させていただきました。子どもへの愛情が行き過ぎていることが、ヘリコプターペアレントになる原因の1つでもあります。つまり、誰でもなりうる可能性があるということです。今回は、ヘリコプターペアレントにならないためには、どうしたら良いのかについてお伝えいたします。

何かご不明な点や心配なことがございましたら、ご相談ください。

<放課後等デイサービスかなで> TEL: 011-596-9915

HP: <https://www.iyfld.co.jp>